

# ひがし

No. 228

'54 11 / 20

人口の動き

—10月末住民登録 人口から

世帯数	953
人口	3,832
転入	3
転出	4
出生	5
死亡	3

先月と比較して 1人増  
昨年同月と比較して 31人減

広報

# しらかわ

■ 発行 岐阜県加茂郡東白川村

■ 編集 / 企画広報課

■ 印刷 / 関市中部印刷



親子で  
歩け歩け

11月3日に歩け歩け大会が行われ、500人余りの親子が参加。

色づいた山々を背に、親子のふれあいを深めながらゴールを目指していました。

—写真はスタート直後（平地内で）

関連記事4ページ

主な内容

- 見直そう儀礼とむだ…P2
- 東白川小で定礎式…P2
- 秋の全国火災予防運動…P3
- 成人病予防検診のまとめ…P6
- 20歳になった国民年金…P7
- 衆議員議員選挙の結果…P7
- 青年男女バスケット東海大会健闘…P7
- 発明くふう展で知事表彰…P7
- ルール守って楽しい狐鞠をP7
- 村誌編さん室だより…P7
- トビックス…P7
- けいじ板はP2～7の下欄

# 見直そう儀礼とむだ

## お年寄りと婦人が話し合い

高度成長のひずみは、一般家庭の生活の中へも大きく影響し、むだの多いことに驚きます。私たちが生活して行く上でさまざまなむだを無くし、年々エスカレートして行く儀礼を見直し簡素して行くことは大切なことだといえます。こうした中で、去る八月、お年寄りと、一家の台所をあずかる主婦の皆さんとの話し合いが行われています。

テーマは「生活のむだを無くすための私たちの役割」で、白寿大学生四十五人と婦人教養講座生六十五人が出席し、活発な意見が出されました。

この問題は単に個々の家庭が気をつけても解決のできることではありません。村ぐるみで気運を高めるため、当日出された意見をまとめ、みんな考えてみたいと思います。



54年1月15日村民センターで

### 成人式の服装

一月十五日は成人の日。この日は全国各地でも振りそでの女性が目につきます。本村での成人式でも、この例にもれず振りそで姿が多くみられるようになってきました。

「一生に一度しか利用できないものなら、むだではないか」、「いや、一生に一度しかない成人式だからこそ着せてやりたい」など、この問題については賛否両論です。最終的に落ち着いた結論は

服装は個人の自由だからどんな服を着ようとかまわない。でも、どんな服装でも気軽に出席できるふん囲気をつくるのが大切ということのようでした。

### 香典返し

現在、本村内で行われている葬儀の場合の香典返しは、本来のものとは違う会葬礼という気がします。

ところが、年々派手になってきていることは事実で、いつのまにかハガキから、ハンカチ・お茶などとエスカレートしてきています。ハガキ程度にとどめる運動がほしいものです。

### 結婚式

公民館結婚式の普及によって、従来それぞれの家庭で行っていた結婚式に比べ簡素化

### 誕生祝い



誕生おめでとぅございませう

■戸籍の窓(十月)

(平)服田 順次 (ゆかり) 静子 (二女)

(陰地)松岡 洋一 (一男) 成子 (三男) 芳樹 (三女)

(日向)桂川 勇吉 (一男) ちずる (二女)

(平)安江 龍次 (栄里) 啓子 (三女)

(大明神)田口 秀久 (宗之) 小鈴 (二男)



いつまでもおしあわせに

田尻 邦久 (神付) 田口 晴美 (平)



おくやみ申しあげます

村雲 ゆき 76歳(下親田) 安江 つるよ 81歳(西洞) 今井 さだみ 49歳(平)



## 生活改善は 村ぐるみで

日向 桂川 政一

「時間励行」これはもう何十年もいい継がれてきたことばです。また「時間励行」といえば、始めの時刻を考えがちですが、終わりの時刻を守ることの大切さを痛感します。

先般、ある研修会に参加しました。出席者は約四百人。午前中は事例発表と意見交換、午後は講演と映画観賞となっていました。

さて、午前中の日程が終わり昼食がすむと、ほつほつ帰る人があり、講演が終わったときには約半数が退場しまし

た。映画の時間となるとまた一人減り、二人減り閉会のあいさつのときにはわずか数千人しか残っていませんでした。

これは、主催者側にも反省すべき点があると思います。が、参加者の考え方がいいかんとあると思います。

また、数年前のことです。ある研修会で、講演が予定時間を三十分以上も超過したため、帰りの汽車の時刻に間に合わずたいへん迷惑したことがあります。

以上はいずれも終りの時刻

が守られなかった例です。

◇ 先に白寿大学生と中央婦人教養講座生との交流会の折、生活のむだについて話し合いが行われましたが、私たちは改善すべきことは改善し、伝統を守るべきことは守ってよりよい村づくりに貢献したいと思えます。

各種団体の代表や一般村民の代表者などによって「生活改善推進委員会」（仮称）を組織し、村ぐるみで生活改善の実践を図りたいと思っております。

### けいせいはん

戦傷病者・戦没者等援護法が一部改正され、昭和六年九月十八日から十二年七月六日（満州事変）までに、公務により死亡した軍人および昭和十二年七月七日（日華事変）以後、公務または勤務に関連する事由で死亡した軍人、軍属および準軍属の遺族が、昭和五十年四月一日から五十四年三月三十一日までの間に死亡などによって、公務扶助料・遺族年金・遺族給付金の受給権者がいなくなった場合は、特別弔慰金が配偶

してきましたが、これもいつのまにかぜいたくになりつつあるようです。

この問題も、成人式の服装と同様、一生に一度のことだから……いや……と意見はそれぞれ分かれませんが、結局豪華であろうとなかろうと個人の自由とはいえ、それぞれ自粛しあまり派手にならないようにする心がけが大切なようです。

### 合理化というむだ

合理化に名を借りて、私たちは機械にたよりすぎていっているのではないのでしょうか。米つくりを例にとっても、

田植えから脱穀、もみすりまですべて機械化が進んでいきます。

余剰時間を利用して現金収入のある仕事を……。という考えから発展してきたものと

話し合いでは、今まで思ってもみなかったむだが、意外と多いことに気がつかれたようです。

しかし、これは話し合うだけでは何にもなりません。それぞれに意見を述べても、実践が伴わなければ、それこそ「むだ」です。

それに、こうした虚礼廃止



和服姿が

考えられますが、その余った時間を実際に有効に利用しているかどうかといえ、疑問が残ります。

### 推進団体の設置を

とむだ追放運動は、以前から本村はもちろん加茂郡下の婦人の皆さんの間でも話し合いが行われていますが、簡素化されるどころかかえって派手になる傾向が見られます。

価値観の相違によって、それぞれむだについての考え方は異なっていますが、この機会を出発点として村ぐるみで生活改善を図るため、推進団体の組織化が望まれます。

今回掲載したもののほかに、お歳暮・年賀状など見直すべき問題が多く残っています。

■善意の寄付紹介―敬称略（学校建設資金へ）  
現金十万円  
―大明神 島倉吉郎  
（厚生福祉費へ）  
現金十万円―坪内流三味線（坪内会）  
（東白川小学校へ）  
造園用岩石  
―中通 村雲直樹  
灯ろう一基  
―大明神 田口勝司  
（中央公民館図書室へ）  
図書八原色版国宝 全十二巻  
V―日向 桂川政一

### 特別弔慰金の

#### 支給範囲を拡大

戦傷病者・戦没者等援護法が一部改正され、昭和六年九月十八日から十二年七月六日（満州事変）までに、公務により死亡した軍人および昭和十二年七月七日（日華事変）以後、公務または勤務に関連する事由で死亡した軍人、軍属および準軍属の遺族が、昭和五十年四月一日から五十四年三月三十一日までの間に死亡などによって、公務扶助料・遺族年金・遺族給付金の受給権者がいなくなった場合は、特別弔慰金が配偶





# 未来の幸せと繁栄祈願

## 東白川小で「定礎式」

完成まであとわずかとなった東白川小学校で、十月十八日午後一時から「定礎式」が行われ、村長をはじめ校舎建設関係者ら八十人余りが出席し、新校舎で学ぶ子供たちの未来の幸せと、学校の末永い繁栄を祈願しました。

「定礎式」は本村では初めての行事で、簡単に説明すれば、産土神（うぶすなの神）土地の神、家屋の守り神、工匠の神（大工さんの神）を祭り、その建物が強く末永く繁

栄することを祈願する儀式で、建物の概要・設計書、施主・施行関係者の氏名などを記入した銘板を埋めて礎石を据えつけるものです。

当日は村長をはじめ関係者ら約八十人が参列し、神主さんの修技の儀から祝詞奉読まで行われたあと、村長が定礎の辞を奉読しました。

## 新校舎の見学兼ね

### 親子で歩け歩け大会

十一月三日の文化の日には、国際児童年記念事業の一環として村の子供会育成会が主催した「歩け歩け大会」が行われました。

この大会は、神土小学校・越原小学校を出発点とする二つのグループが、神土小から六・二キロ、越原小から六・八キロのコースを歩き、途中でドッキングして休けいを取り、そのあとそれぞれにゴールの東白川小学校を目指すというものです。

り、工事関係者による定礎箱の鎮定や定礎石の据えつけなど、型どおりの儀式を行い、最後に玉ぐしをあげて式を終えました。

定礎箱には定礎の辞や関係者の名簿、現在使用されている通貨（一円から一万円まで合計一万六千六百六十六円）などが納められています。

また、定礎石は大理石でできており、「定礎」の文字は村長が揮ごうしたものです。設置された位置は校舎の玄関です。お立ち寄りの際はぜひご覧ください。

それぞれの出発点を午前九時三十分元気よくスタートした一行は、紅葉ですっきり色づいた山々を背景に、親子のふれあいを深めながら歩き続け、午前十一時過ぎにゴールの東白川小学校へ到着しました。

この日参加した親子ら五百人余りは昼食を食べながら、「もうすぐここで学んだ」「来春からはよろしくね」と完成間近かの校舎の前で語り合っていました。

者・子・父母・兄弟姉妹などの遺族に支給されることになりました。  
詳しいおたずねは、民生課住民係へ。

### ■青色決算・年末調整 説明会のお知らせ

青色決算説明会と年末調整説明会が、次のとおり開催されます。該当する方はぜひご出席ください。

◎青色決算説明会  
十二月三日午後二時～  
東白川村民センター

◎年末調整説明会  
十二月四日 午後一時三十分～四時  
白川町農協会館

### ■十二月は公給領収証

交付受領強調月間

料理飲食など消費税は、皆さんが料理店やバー、旅館などを利用されたときにかかる県税であり、県の重要な財源となっています。

公給領収は、この税金を預かった「あかし」として発行されるもので、皆さんの支払った税金が県へ確実に納められるために必要な

# 秋の全国火災予防運動

## 11月26日～12月2日

ことしも、十一月二十六日から十二月二日まで、秋の全国火災予防運動が繰り広げられています。

とくに十二月から三月までの冬場は、石油ストーブなどの暖房器具を使うため最も火事の多い季節といわれていますが、本村内でも近年この季節の火災が目立ちます。

火は出さないことが第一です。この運動をきっかけに予防消防を今一度考えてみたいものです。

また、万一火を出してしまったときのこと知識として身につけてほしいものです。

### 仲たがいで火は消える

#### 火の三要素

火が出る——ものが燃える  
ためには、「燃えるもの」と  
「空気（酸素）」と「熱」が

必要です。これは、いわば  
「火の三要素」ともいえま  
す。このうちどれか一つでも  
欠けると、物は燃えません。  
つまり火を消すということ  
は、この「燃える三要素」の

どれか一つを取り除く、ある  
いは、シャ断してやればよい  
ということなのです。

わたしたちは、ふだん家庭  
の台所などで毎日火をつけた  
り消したりしています。この  
ような「点火」と「消火」の  
しくみは、別の言い方をすれ  
ば燃える三要素を組み合わせ  
たり、「仲たがい」させたり  
していることになるのです。  
消火のコツもここにありま  
す。

消火の方法は、この燃える  
三要素に見合った三つの形が  
考えられます。つまり、三要  
素のどれか一つを初期の段階  
で「仲たがい」させるので  
す。

### 燃えるものを 取り除く

#### 除去消火

例としては、ガス火災のと  
きなど元せんを閉めて、「火  
元」を断ったり、山火事のと  
き、周囲の木を切って延焼を  
防ぐ場合などがあります。

### 空気（酸素）を 断つ

#### 窒息消火

天ぷらをあげていて電話が  
かかり、うっかり長話になっ  
て戻ってみるとなべに火が入  
っている——こんなとき、と  
っさになべにフタをすると酸  
素が断たれ火は消えます。

また、倒れた石油ストーブ  
が燃えだしたときは、シート  
などを水にぬらしてかぶせる  
と消すことができます。一  
このような消火方法が、窒  
息消火です。

### 熱を下げて消す

#### 冷却消火

火事と聞いたたら、まず「水  
／＼」と反射的にピンとくるほ  
ど、水は冷却消火のチャンピ  
オンです。また、天ぷらなべ  
に火が入ったときなど、手近  
にある野菜などを入れるのも  
冷却消火の一つの方法です。

## けいじばん

ものです。岐阜県では、十二月中を「公給領収証交付・受領強調月間」として、皆さんの協力をお願いしています。この月間を契機に、公給領収証を受け取る習慣をつけましょう。

### 最低賃金

#### 改正のお知らせ

岐阜労働基準局では、県内で働くすべての労働者に適用される「岐阜県最低賃金」を改正しました。

この改正により、十月十一日以降は従業員に支払う賃金を、一日二千六百四十九円（一時間三百二十二円）以上としなければなりません。

また、別に定められている「産業別最低賃金」が適用される事業であっても、現在の産業別最低賃金のほうが低い場合には、この「岐阜県最低賃金」が適用されますから、事業主の皆さんはご注意ください。詳しいことは、岐阜労働基準局賃金課 電0582（45）81011へ。



消防庁 日本損害保険協会



ことしも、岐阜大学医学部衛生学教室をはじめ、加茂保健所・村の成人病予防推進員など多数の皆さんの協力を得て、八月二日から六日間にわたる成人病予防検診を行いました。

この予防検診もことしで二十一年目、通算二十回目となり、また、現在のような検診体系になって九年を経過しました。そこで、ことしの結果をみても同時に、今までの検診をふり返り、皆さんといっしょに検診体系について考えてみたいと思います。

# が効果的 ふり返って

順番を待つ間に自分の管理台帳に目を通して、健康状態を確かめることも大切 一 昨年の検診のもよう 村民センターで

## ことしの受診率 は六一・九%

まず、ことしの結果を見てみると、対象者千六百七十四人、受診者千三十六人で受診率は六一・九%となっています。これは受診率の高かった昨年(六五・三%)に比べ少し低い値ですが、過去の推移からみればここ七年間ほど六〇%を上回る成績で、安定してきているともいえます。

年齢別では、三十歳代・四十歳代の男性の受診率が低く例年と同じような傾向を示しています。一方、六十歳代・七十歳代の受診率は伸びており、明るい材料となっているようです。

依然として受診率の低い三十歳代・四十歳代の男性と受診率の高い女性や六十歳代・七十歳代の男性についての相違点を考えてみると、受診率の低い三十〜四十歳代の男性は、村の検診を受けなくても職場で検診を受ける機会がある。また、逆に女性や六十〜七十歳代の男性では、そうした検診の機会がないなどの理由が考えられます。

年一回の健康確認の機会があり、六〜七割の人がそのチャンスを生かしておられるようです。

## 九五%の人が 健康を確認

受診者千三十六人のうち、約九五%の人が健康(異状なし)を確認され、三十一人の人が精密検査を受けられることになりました。

精密検査は十月八日から始まっており、これまでの結果では要観察一人、要注意二人、要治療一人、異常なし二十七人となっています。

異常なしの判定を受けた人は、来年も予防検診の対象になります。また、要観察・要注意の人は予防検診とは別に東白川病院で行う管理検診の対象となります。

要治療の判定を受けた人は残念ながらこれらの検診の対象とはならず、病院の先生の指示に従って治療を受けていただくこととなります。

定期的にきちんと治療を続けられれば、また予防検診の対象となることもあります。途中で止めてしまわないよう継続して治療を受けてください。

## 郵便局だより

■小包・年賀状は早めに  
年末の郵便利用

郵便局では、毎年十二月になると小包や年賀状など大量の郵便物を取り扱うこととなります。利用者の方々は、とくに次の点にご協力をお願いします。

小包は12月15日までに  
十二月はお歳暮を中心にふだんの約二倍の小包が出されます。十二月半ばを過ぎてから出されると、年賀状の処理と重なり配達が遅れることがあります。

ぜひ早めに準備し、遅くとも十五日までにお出しください。

包装はしっかりと  
小包の包装をしっかりとしたり、運送中にこわれたり、中身が抜け落ちたりすることもあります。送り主の真心がそのまま先方へ届くよう、小包をつくるときは段ボール箱や丈夫な包装紙でしっかりとひもをかけてください。

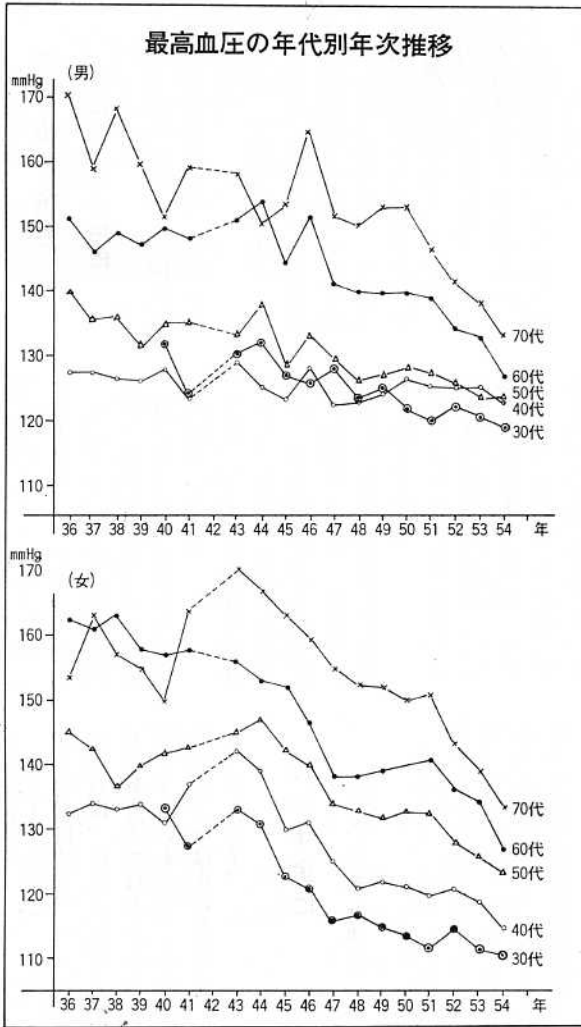
年賀状は12月20日までに  
ことしも十二月十五日から年賀状の受け付けが始ま



# 成人病予防検診

## 指導重点の体系

### 過去の検診体系を



健康な人のための検診  
再認識して！

グラフは、最高血圧の年代別平均値の年次推移を調べたものですが、点線で示されている昭和四十二年（検診を行っていない年）を境に少しずつ下ってきています。

検診を行わなかった年の前年（昭和四十一年）に比べ、昭和四十三年の値は上がっています。皆さんの気のゆるみも含めていくつか原因は考えられますが、いずれにせよ

かこの検診が大切かを物語っているといえます。

女性は昭和四十三年から、男性は昭和四十六年から各年代とも値が少しずつ下がっています。村へ保健婦が入ったのが昭和四十四年、現在のような検診体制が確立されたのが昭和四十六年で、ちょうどこの時期に一致しています。

いいかえれば、現在行われている保健婦による保健指導を重点とした検診体系が効果あり、今がいちばんよい状態にあるといえるようです。

ところで、最近一部の人たちから、予防検診に心電図なども取り入れたら。という意見が出はじめていますが、予防検診はその名が示すとおり、病気になるないように、また、病気になる前でも早期発見し早期治療ができるように行われているものです。つまり「健康な人のための検診」というわけです。

今一度この趣旨を再認識していただき、年一回の健康確認のチャンスを見逃すことなく、有効に生かしてほしいと関係者は願っています。

ります。あわただしい年末の年賀状書きはとくに遅れがちですが、元旦には先方へ届くよう遅くとも二十日までにお出しください。

また、毎年迷子年賀状が多くあります。あて名は正確に、そして、郵便番号も忘れず書いてください。

#### ■村内の米寿者に

郵政大臣からお祝い

郵政省では、毎年「敬老の日」にちなみ、米寿を迎えられるお年寄りに大臣からのお祝い状と記念品を贈りその長寿を祝っています。が、本村でも九月十四日に東白川郵便局長が、村内の米寿者宅を訪問し、大臣からのお祝い状と記念品を伝達し長寿を祝いました。

ことし米寿を迎えられた方は次の皆さんです。

—敬称略—（ ）内は生年月日

中丸 久作 八月十九日  
愛知県半田市へ転出

神戸 千賀 平 (M 24・3・13)

今井 志き 大沢 (M 24・5・14)

故 小池小ぎん 中谷 (M 24・9・30)



# 20歳になった国民年金

## 加入者は全人口の4分の1

あめ玉年金も

今では二十倍に

二十歳から加入する国民年金制度が生まれて、二十年たちました。

この二十年間毎年休まず改善を続け、最初は一月千円で孫にあめ玉を買ってあげるくらいにしかならず「あめ玉年金」と陰口をたたかれていた老齢福祉年金も、今では二万円にもなりました。

そのほかの年金も軒並み二十倍近くになり、今では全国



待ちどおしい年金支払日―東白川郵便局で―

で九百万人以上の人に年間二兆五千億円余りの年金を支払っています。ちなみに、本村だけでも約七百人の人に年間一億八千万円以上の年金が支払われています。

また、年金には昭和四十九年から、物価が上がった分だけ毎年年金額を引き上げて行く「物価スライド」が取り入れられたため、目減りするとはありません。

このように国民年金制度が年々魅力あるものになるにつれ、加入者も増え当初一千万人台だったのが、今では二千七百八十万にもなっています。これは、ちょうど日本の全人口の四分の一にあたります。

### 止むを得ない

#### 保険料の引き上げ

今後も国民年金制度を維持して行くための財源の見通しが、厚生省から発表されています。

これによりますと、世界の長寿国となった我が国は、今後お年寄りがどんどん増えて来る事が予想され、国民年金保険料も引き上げられて行くのは必至です。

しかし、物価がどれだけ上がったとしても目減しないこの制度の利点は、ほかの預貯金や生命保険などではなかなかまねの出来ないもので、ある程度の引き上げは止むを得ないこととなります。

### 付加年金に

#### 加入しましょう

去る九月、全村一斉に付加年金の加入促進をしたところ、新たに三十六人の人たちが加入されました。その結果、付加年金の加入率は約二二%となりましたが、お隣りの加子母村の約五四%に比べるとまだまだ低い値です。

付加年金は、月四百円を定額保険料に上積みして掛け金をすれば、国がその積立金を運用し、さらに二五%の負担を上積みするため年金を受け取る時にはかなり有利になります。つまり皆さんの納付した四百円の保険料は、実質的には五百円分の価値があることとなります。

この制度は特定の例外（農業者年金に加入している人は付加年金への加入が義務づけられており、届出を忘れていても二年前にさかのぼって納

めることができます。を除いて、さかのぼって加入することはできません。ですから、できるだけ早く加入し、その加入期間が一日でも長いほど有利になるわけです。

まだ加入していない人で、付加年金への加入ご希望の方は、先に配布した加入申出書を使って申し込んでください。申出書がない場合には、印かんを持参して役場の窓口で手続きすることもできます。

### 下野組と上親田組が

#### 功労団体章を受賞

去る十一月七日、岐阜市の産業会館で開かれた「国民年金法施行二十周年記念岐阜大会」の席上で、国民年金の発展に功労のあった個人や団体が表彰され、本村でも次の二団体が表彰されました。

○社会保険庁長官表彰

民間地区組織の部 下野組

○県知事表彰

民間地区組織の部

上親田組



# 前回は上回る投票率87.8%

## 衆議員議員選挙の結果 最高裁判官国民審査の結果



村民センター4階の大集会室で行われた開票風景

### 〔投票区別投票率〕

神 土	89.00%
神 付	88.54
越 原 下	89.16
越 原 上	84.02
五 加	87.52
計	87.88

### 〔部落別投票率＝上位〕

1 位	久須見	97.14%
2 位	大口	96.08
3 位	日向	94.47
4 位	上親田	91.50
5 位	神付	91.45
6 位	中通	91.43

去る十月七日に行われた、衆議員議員選挙と最高裁判所裁判官国民審査の本村での投票率は、前回は上回る八七・八八%の結果でした。  
一般消費税の導入など、直接私たちの暮らしに関係の深い選挙戦のテーマが打ち出されたことによって、皆さんの政治に対する関心も深まり、好成績となったようです。  
投票は、今までどおり村内五か所の投票所で、朝七時か

### □衆議員議員選挙の結果

投票総数 二、四五九

有効投票 二、四三七

無効投票 一二二

### 〔有効投票の内訳〕

渡辺 栄一 二八四

金子 一平 六五九

榎 兼次郎 二二三

市川 英昭 一四三

村井かつよし 九一

古屋 亭 三七

### □最高裁判所裁判官

国民審査の結果

投票総数 二、四五八

夕方六時まで、また、開票は村民センター大集会室で夜七時から行われ、結果は次のとおりでした。

有効投票 二、二六二  
無効投票 一九六  
持ち帰り票 一  
〔有効投票の内訳〕

### 数 の 可 否 の 免 罷

採点表	裁判官 山本 亨	中村 治朗	藤崎 万里	塚本 重頼	横井 大三	塩野 宣慶	木下 忠良	戸田 弘
可の数のうち 免をのす	146	140	144	133	136	129	122	116
可の数のうち 免をのし	2,116	2,122	2,118	2,129	2,126	2,133	2,140	2,146



# 東海大会で上位に入賞

## 青年バスケットボール男女



十月七日、静岡県静岡市の草薙体育館で行われた、東海四県青年バスケットボール大会に、本村青年バスケットボールの男女が出場し、男子は準優勝、女子は三位という輝かしい成績をおさめました。

この大会は、九月九日に行われた岐阜県青年団体育の集いに本村から卓球・剣道・バスケットボールなど三十人余りが出場し、みごと優勝した男女バスケットボールが岐阜県代表として出場したものです。

男子は、第一回戦優勝候補の静岡チームと対戦、熱戦の末少差で勝ちました。決勝戦では前半、技術面で上回る本村チームが優位に試合を進めました。後半愛知県代表の高さとスタミナにおされ、結局小差で破れました。

女子は、第一回戦は三重県代表、第二回戦は静岡県代表



準優勝の男子チーム(上)と 3位の女子チーム

と対戦しましたが、いずれも身長差が大きく、悔しくも破れ三位にとどまりました。

優勝こそ逃したものの、両チームとも入賞できたことはすばらしいことですが、それよりも県の代表として本村の青年たちが出場したことに意義があるようです。

スポーツに限らず、後継者の育成が叫ばれている今日、今回出場した青年たちの活動がスポーツをはじめ、あらゆる面で今後期待されます。

### 季節の話題

例外的な薬は、貧血治療に用いる鉄剤で水のほうが無難でしょう。また、テトラサイクリン系の薬(テラマイシンなど)は牛乳と胃の中でいっしょになるのを避けたほうがよいでしょう。

「また、食後三十分というのは、食後三十分以内という意味です。薬が食物と混じるようにするのが目的ですから、むしろ食後のお茶で飲んでしまったほうが飲み忘れることもなくよいでしょう」といっています。

### 季節の話題

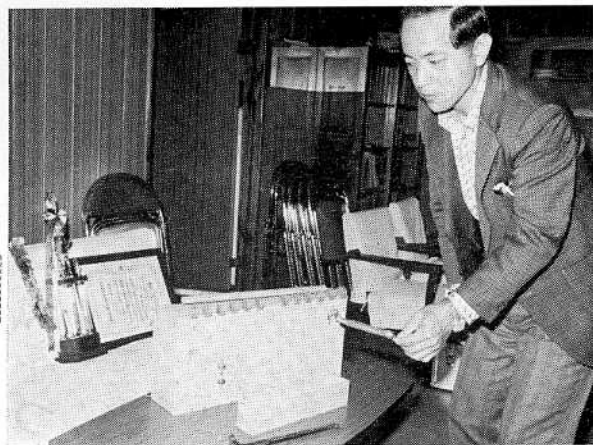
#### 薬の飲み方

薬はお茶で飲んではいけないという、昔からの言い伝えみたいなのがありますが、日本薬情報センターの久保理事長は、「たいいていの薬は、お茶で飲んでかまいませんし、ジュース、スープ、みそ汁、牛乳などで飲んでも差し支えありません。

就寝前に睡眠薬やカゼ薬を飲むときも、あたたかい牛乳やスープなどで飲んだほうが、胃を悪くしないのでかえってよいくらいです。

# 発明くふう展で知事表彰

## 伊藤先生の「道具の働き実験器」



「こんなふうにして使うんですよ」と伊藤先生  
—越原小学校応接室で—

越原小学校の伊藤政太郎教諭(吾)は、十月二十一日岐阜市民センターで開催された「79岐阜県発明くふう展」の第三部で、県知事表彰を受けられました。

先生の作品は「道具の働き実験器」で、考案の動機は、文部省から出されている小学校指導書理科編の6年B(4)に

「ここを使って力の加わる位置および大きさを調べてこの原理およびそれを利用した道具について理解させる」という項目がありますが、学校にある器具では実験しにくいため、なんとか子供たちにわかりやすく説明する器具ができませんか。ということから考えられたものです。

先生は、これまでに「風ぐるま」「やまのすわり比較実験器」などで県議会議長賞などを受けておられ今回で三回目。作品は夏休み中に作られたもので、ことは三つの作品を出品され、その

うちの一つが入賞したものです。道具のはたらき実験器は、戸車(滑車代用)・UHFのアンテナ・ボールなど廃物となったものを利用して作られており、審査員の評判もよく、来春東京で開かれる全国大会へも出品されることになりました。

◇

### 暮らしと健康

寒い冬の生活や健康にとって暖房は大切なものといえます。ところがそれも上手に使わないと、かえって体をこわすことになってしまいます。この冬をより暖かく健康に過ごすための方法を考えてみましょう。

**暖かさのくふう**

- ① 風呂を暖かく  
入浴時には、湯ぶねのフタを開け湯気を暖めてから入りましょう。
- ② 暖かさの演出  
部屋には暖かい色のカーテンや、カーペットを使って暖かいふん囲気を作りましょう。
- ③ 頭熱足寒の予防  
ストーブ暖房はどうしても暖かい空気が天井のほうに行き、頭ばかり暖かく、腰から下が寒くなりがち。近くに扇風機をつけ空気を動かすと、部屋全体を暖かくすることが出来ます。
- ④ すき間風を防ぐ

① 板と板のすき間に目ばりする

② 天井をきちんと張る

③ 窓や戸口にも目ばりをする。

**暖房使用上の注意**

① 換気に気をつけて  
暖房すると部屋の空気が汚れ、酸素不足になり不健康です。部屋の空気はときどき入れかえてください。

② 部屋の乾燥にも注意  
部屋の湿度が上がると、乾燥してノドを痛めカゼをさそいます。ストーブの上にはやかんや蒸発皿を置きましょう。

③ 事故防止  
火を出さないようストーブの置き場所やタコ足配線による漏電に十分注意を。また、子供のやけどなど事故防止に注意しましょう。



# 似てるかな



## ぼくのおとうさん

神土小2年 安江 太朗  
加舎尾 安江勇さん 長男

ぼくのおとうさんは、  
じどう車を手でどうぐを  
もってやったりします。  
おとうさんは、五じ四  
十ぶんごろかえってきま  
す。  
おとうさんがぼくのほ  
つぺたにひげをこすりつ  
けられるとちよつといた  
いです。  
やさしいときもこわい  
ときもあります。

# 事故には気をつけて

## ルールを守って楽しい猟期を

狩猟者の皆さんにとって待  
ち遠しかった狩猟が、十一月  
十五日解禁になりました。

狩猟は、昔は人間生活の重  
要な位置を占めていました  
が、農耕生活が進むにつれ遊  
びの要素が加わり、現在では  
スポーツともいわれるようにな  
りました。

しかし、スポーツといわれ  
るこの狩猟の、ほかのスポー  
ツと違う点は、ルール違反を  
すれば刑罰が課せられること  
です。

とくに、銃器による事故は  
直接人命につながり、場合に  
よっては家庭の破壊にまでお  
よびます。

幸い、本村内では人身事故  
は発生していませんが、毎年  
一〜二回発生する電話線や有  
線などのケーブルの被害は、  
被害箇所の発見など保守作業  
に大きな経費がかかり困って  
います。

狩猟注意の第一に、「引き  
金を引く前に矢先を確かめ  
る」とあるように、人身はも

ちろん、物損事故も起こさな  
いようルールを守って猟期を  
楽しんでください。  
出猟するときには、次のこ  
とに十分気をつけましょう。

- ① 銃器の安全を確認
- ② 矢先および周囲の安全を確  
認
- ③ 常に心を冷静に保ち、狩猟  
を行う
- ④ 団体での狩猟は、常に猟友  
を確認し合う
- ⑤ 狩猟禁止区域では、絶対に  
狩猟をしない

また、カスミ網による密猟  
があとを絶ちません。  
カスミ網を含め、鳥獣の張  
り網は禁止されています。み  
んなで監視し、違反行為を追  
放しましょう。

また、カスミ網による密猟  
があとを絶ちません。  
カスミ網を含め、鳥獣の張  
り網は禁止されています。み  
んなで監視し、違反行為を追  
放しましょう。

# 暮らしのカレンダー

### \*第15回加茂駅伝

- ・とき 12月2日  
午前10時出発
- ・ところ 八百津町役場前〜  
西中(美濃加茂)

### \*照見吟詠会

- ・とき 12月2日  
午前10時〜
- ・ところ 村民センター
- ※村の文化協会詩吟クラブが  
中心となり、日ごろの練習  
の成果を発表します。

### \*殺鼠週間

- ・とき 12月9日〜15日
- ※全村一斉に実施してくださ  
い

### \*生活指導委員会

- ・とき 12月10日  
午後3時
- ・ところ 村民センター
- ※PTA代表・社会教育団  
体・教諭による研究会

### \*中央婦人教養講座

- ・とき 12月11日  
午前9時〜
- ・ところ 村民センター

### \*栄養教室

- ・とき 12月12日  
午前9時〜
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 54年度教室生

### \*教育懇談会

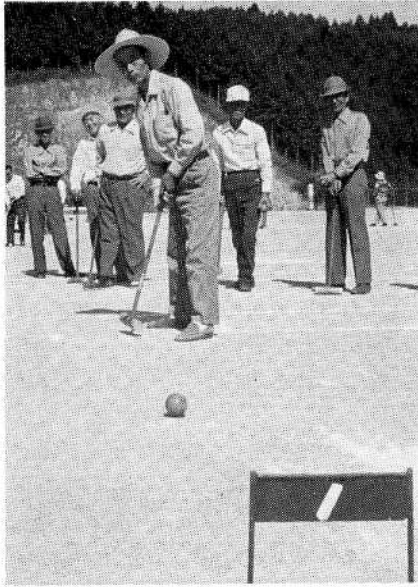
- ・とき 12月14日  
午後1時〜
- ・ところ 村民センター

### \*白寿大学

- ・とき 12月17日  
午前9時40分〜
- ・ところ 村民センター
- ・対象者 白寿大学生

### \*各小・中学校第2学期 終業式

- ・とき 12月26日
- ※冬休みに入ります。家庭生  
活は規則正しく過ごしてく  
ださい。



## 老人クラブで大盛況

最近、老人クラブなどで静かなブームを呼んでいるスポーツがあります。

これはゲートボールといい、過激な運動量を必要とせずだれにでもできるということから、とくにお年寄りの間で普及しつつあるようです。

この競技は、コート（15m×20m）の中でゴルフスタックと同じような柄の長い“ツチ”を使用して、木製かプラスチック製のボールを打ち、定められた場所にセットされた22cm幅のゲートを少しでも早く通過させ、ゴールポールに当てるといふものです。

個人戦でも団体戦でもできる競技ですが、それよりも競技を通じてコースをよむ判断力や味方を助けるチームワークなどを養うことができ、また、コースを何度も歩くため体力づくりにも非常によいなど、日ごろ運動する機会の少ない現代に適したスポーツといえます。

このほど総合運動場で開かれた白寿大学生対象の講習会＝写真＝でも、指導者より詳しく知っている人もあり、今後このスポーツを広めると同時に練習の成果を発表する機会をつくることも必要なようです。

## ブームを呼ぶゲートボール

民俗風俗あれこれ

## 社会生活

—村誌編さん室だより



### 〔二族制〕 苗字（名）その二

ただし、この苗字禁止も、江戸末期になると本百姓などの家柄ではその家格を誇示するため、表向きの場では苗字を用いることはかなり多かつたようで、神仏などへの奉納物などの寄進者の名前からもうかがい知ることができ。明治三年（一八七〇）九月に「自今平民迄苗字差許され候事」との太政官布告によって、従来の苗字を公然と名乗ってよいことになった。そして同五年（壬申）二月

から、戸籍制度が実施されてからは全国いずれの家にも苗字がつけられた。しかし平民のうちには、長い間苗字の無いのに慣れており、出所系統がはつきり分らず、やむを得ず役場で急に苗字をつくってやっただなどという話しも残っている。

ちなみに、このとき（壬申戸籍）における本村の苗字の数をひらいてみると、当時の戸数四百八十七軒に対して苗字の数は四十二種に類別されるが、この村は農山村地域の特徴にも見られるように、先祖代々同じ土地に住み本家か

ら分家、分家からさらに分家へと派出した家が多いことから、同じ苗字がしかも特定の地域に偏在するのが目立っている。

全体では安江がおよそ四〇％で首位を占め、以下順に今井・村雲・田口・古田・桂川・松岡で全体の約四〇％を占めている。

また、主な苗字の分布について近隣町村との関係を探ってみると、村雲・松岡・島倉・栗本・樋口・大坪・菊田などは近隣町村ではあまり多くは見かけない苗字である。

### ▼今月の料理▲

#### トリ手羽先のスープ

材料―六人分―

トリ手羽先：十二本・ニンジン：一本・玉ネギ：一コ  
キャベツ：三枚・ジャガイモ：三個・個形スープの素：二個・塩、こしょう：少々・月桂樹の葉：二枚

作り方 ①トリ手羽先を熱湯で二分ほど煮て水気を切る。ニンジン、ジャガイモは皮をむき、乱切りにし、ネギは三センチ長さ、キャベツ一口大、玉ネギはくし形に切る。

②鍋に水七ツツを入れ、スープの素、ニンジンを加えて煮たて、ジャガイモを加えて十分間ほど煮る。

③長ネギ、玉ネギ、月桂樹の葉を加えて煮込み、玉ネギが透明になったらキャベツを加え、一煮たちさせ、塩・こしょうをして味を整えパセリがあればみじん切りにして、ふりかけて食べる。また一味違ったスープになります。

（今回はトリ手羽先を使いましたが、無い場合は豚肉でもけっこうです。）



時ならぬ

山桜の狂い咲き

平上の安江久夫さん宅の裏にある山桜が、時ならぬ花を咲かせました。

この桜は、樹齢およそ100年といわれていますが、この時期に花が咲いたのは初めてとか。もちろん、春咲く桜のように葉っぱはありませんが、初秋にふさわしいもの悲しさを漂わせています。

さしずめ、暑かったことしの夏の気候が影響したとでもいえるでしょう。

＝写真＝は、葉の無い枝に花を咲かせた山桜。10月17日写す

トピックス  
トピックス

働く苦しさ喜び学ぶ  
中学生が廃品回収

10月21日、東白川中学校の生徒たちが廃品回収を行いました。

ことしは、今までと違い生徒会が中心となり「生徒会の運営予算はほくらの手で……」と計画されたものです。

生徒会長の有線放送をはじめ、各地区へのポスター掲示など村民への呼びかけが効を奏し、当日集まった廃品は6ト、積トラック3台分、金額にして44万円余りにもなりました。

生徒たちはこの行事を通じて、働く苦しさ喜び、そして物の大切さ、お金の尊さを学んだようです。＝写真＝は廃品を積み込む生徒たち農協越原支所前で



霧ふかく包みし山の彼方より候補者の声は切なくきこゆ  
老令ゆえに賃銀安しと七年を勤め励みて今日も暮れたり  
お蚕終り久々に早きしまひ風呂眼を閉じ居れば心のみぬ  
バインダーの軽きリズムに刈りてゆく稲束の列に夕陽かがやく  
木枯しの吹く度ごとに散り急ぐ木の葉の音のかそけく淋  
化粧してサルビヤ一輪かざしやり永久に別れし母思ふ秋  
盆栽のさつきの秋芽生き生きと狂ひ花らし一輪咲きぬ  
練りてゆく子供み興の先に立ち拍子木打ちて孫は気負へり  
祭り日の小雨模様も吹き飛びてみ興の氣勢空に木魂す  
その昔この地に在りし相生座眼に残れども語る人もなし  
電線に羽根触れ合ふまで止まりて夕焼空にも群れ飛ぶ蜻蛉  
育ちゆく子等を見守り七十年神小校舎もやがて消ゆるか  
権力の亡者の徒党争へる政治の修羅に心冷えゆく  
○ 時事無情  
稔り田になだれて咲きしみぞそばを引きずり上げて稲を刈るなり  
田口良三



あなたの作品をお寄せください  
・初心者、特に若い人達の投稿を歓迎します。  
・毎月末までに神土田口良三宛に出してください